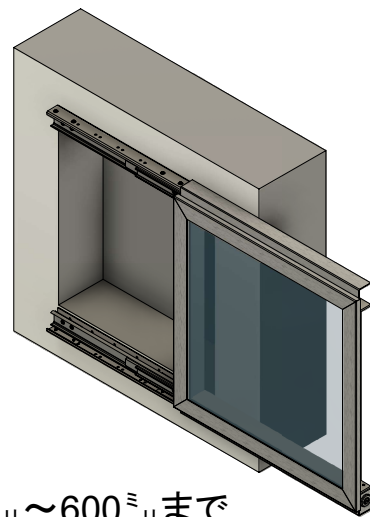
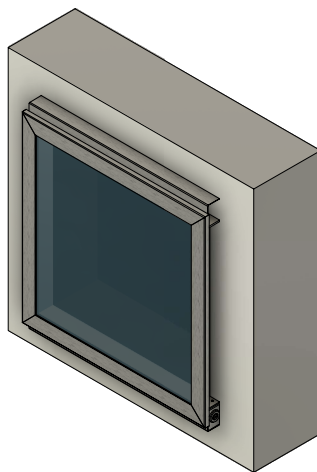


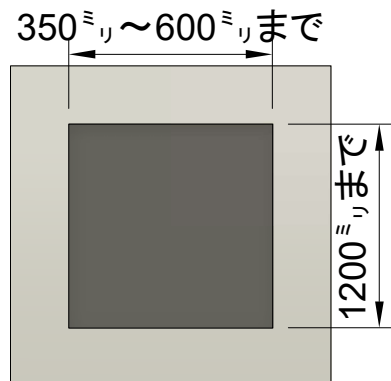
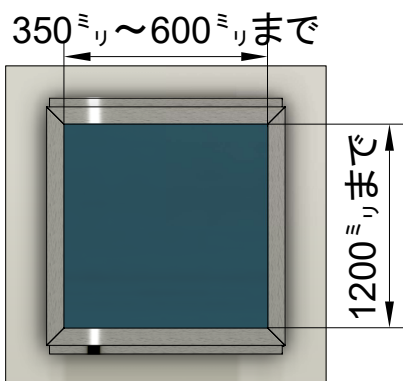
ウォールイン 取付説明書



【使用条件】

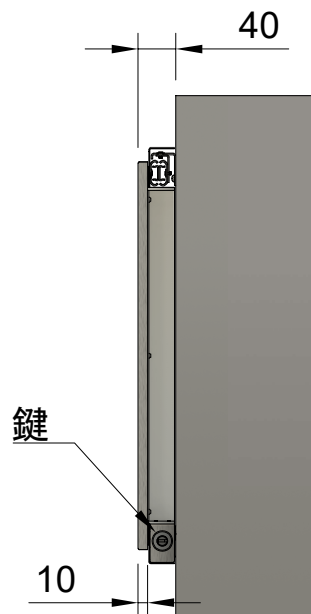
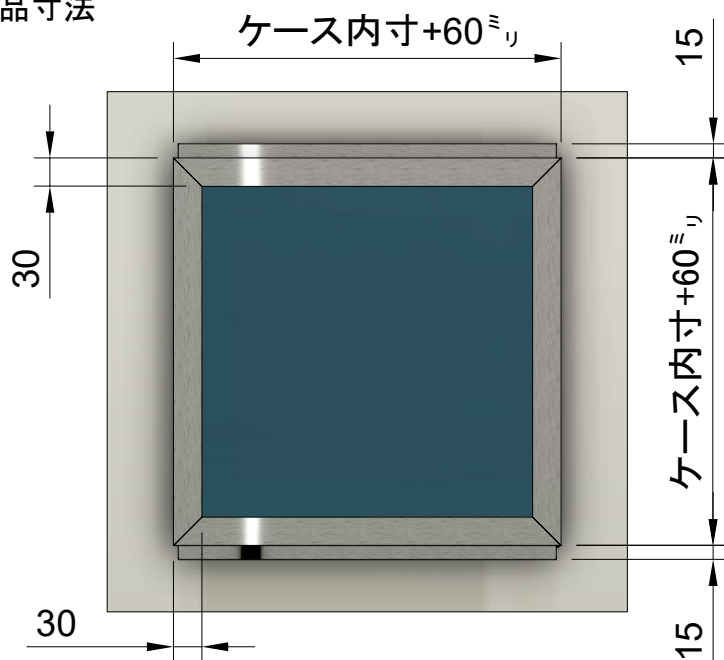
硝子厚
5^{ミリ}専用

最大サイズ
ケース内寸
W350^{ミリ}～600^{ミリ}迄
H1200^{ミリ}迄



※金物無しの状態

製品寸法

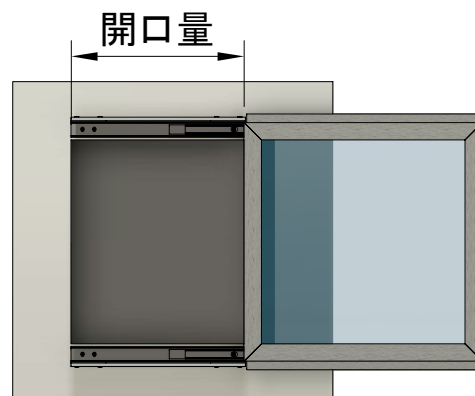


図は引き戸が向かって右にスライドするタイプのものです。
スライド方向は左右選択可能です。左スライドの場合は鍵が図とは反対側になります。

開口量について

引き戸の開口量は大きさによって変わります。
各大きさで開口量は下記の通りです。

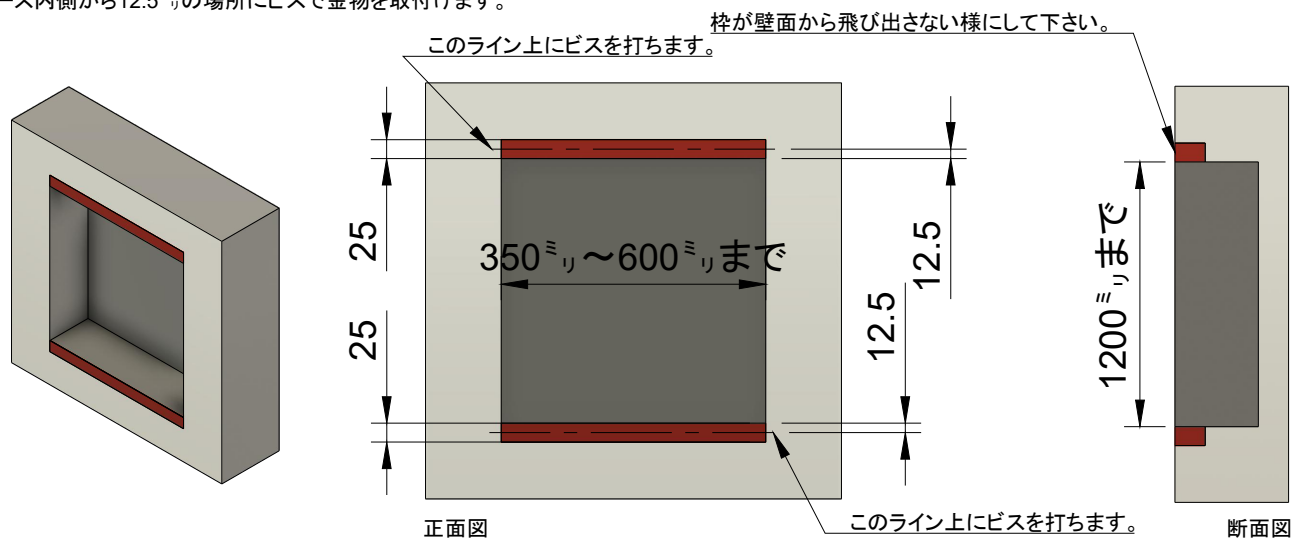
ケース内寸W	開口量
350 ^{ミリ} ～399 ^{ミリ} 迄	約295 ^{ミリ}
400 ^{ミリ} ～449 ^{ミリ} 迄	約345 ^{ミリ}
450 ^{ミリ} ～499 ^{ミリ} 迄	約395 ^{ミリ}
500 ^{ミリ} ～549 ^{ミリ} 迄	約445 ^{ミリ}
550 ^{ミリ} ～600 ^{ミリ} 迄	約495 ^{ミリ}



取付相手側の条件

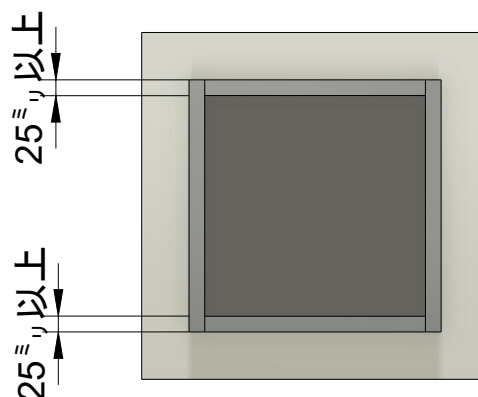
新規作成する場合

ケースの内寸はW600 $\frac{mm}{mm}$ 迄 H1200 $\frac{mm}{mm}$ 迄となります。奥行に制限はございません。
ケースの枠は、壁面から飛び出さない様にしてください。
ケースの枠は上側と下側は25 $\frac{mm}{mm}$ ずつ(図の赤い部分)にビスが効くようしてください。
ケース内側から12.5 $\frac{mm}{mm}$ の場所にビスで金物を取付けます。

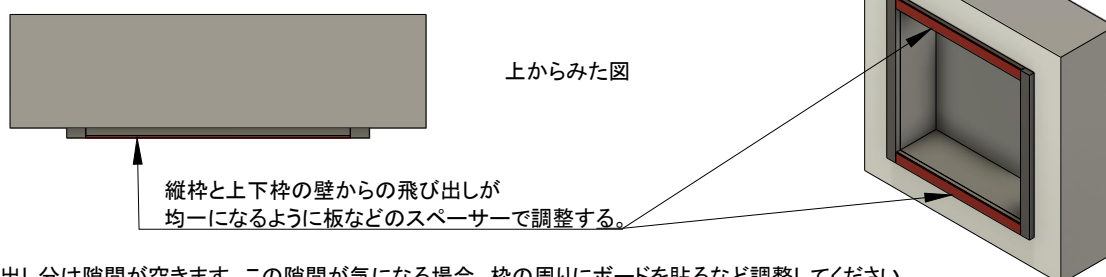


既存のケースや枠に後付する場合

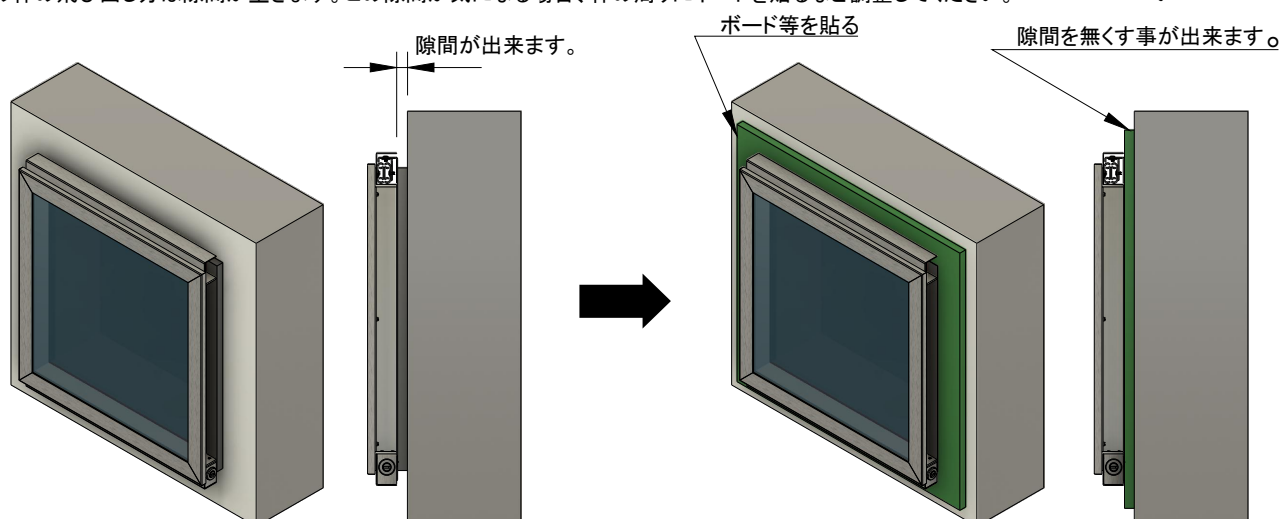
ケース内部のW600 $\frac{mm}{mm}$ まで、H1200 $\frac{mm}{mm}$ までであることと、
上枠と下枠にケース内側から12.5 $\frac{mm}{mm}$ の位置に
ビスが打てる事を確認してください。
枠が壁から飛び出している場合
上下の枠の幅が25 $\frac{mm}{mm}$ 以上であることを確認してください。



枠が縦勝ちで縦枠が上枠、下枠よりも出ている場合は、
縦枠と上下枠の壁からの飛び出しが均一になるように調整してください。

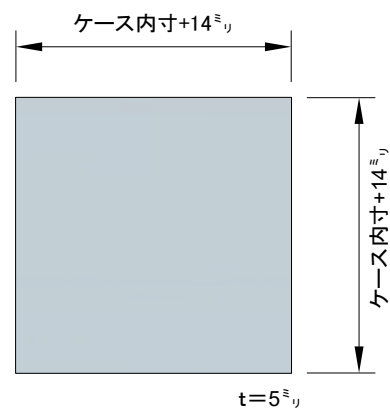


元の枠の飛び出し分は隙間が空きます。この隙間が気になる場合、枠の周りにボードを貼るなど調整してください。



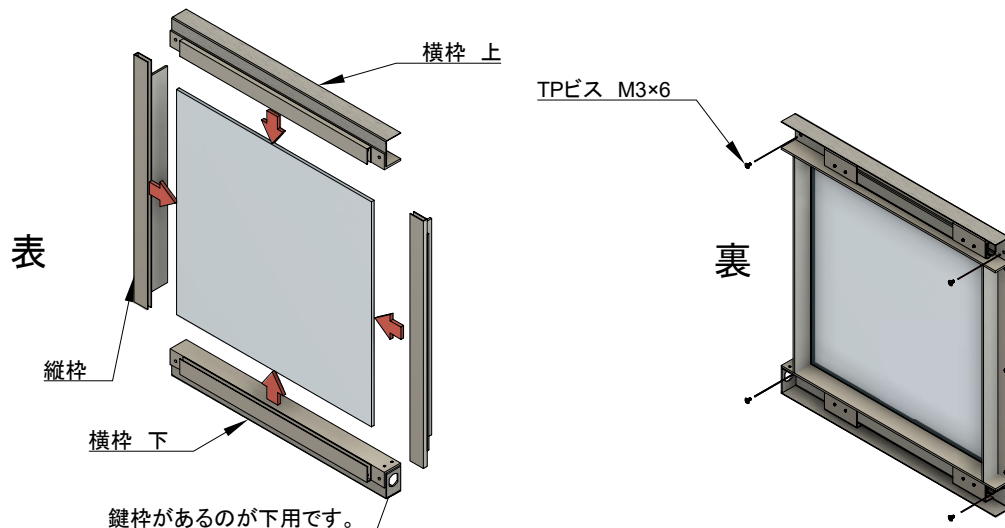
ガラスの準備

取付けるケースの内寸のWHにそれぞれ+20^{mm}した5^{mm}厚のガラスをご用意ください。



枠の組み立て

ガラスに縦枠、横枠を差し込み後ろ側から付属のTPビス M3×6で止めます。

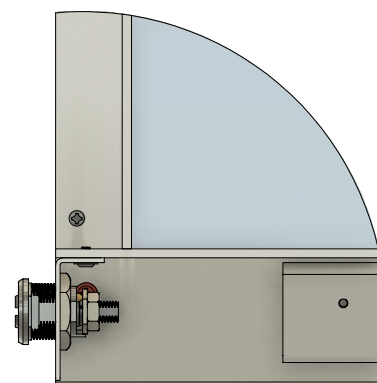
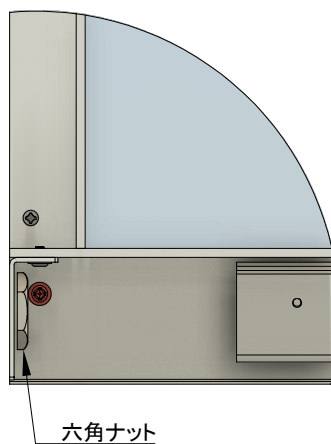
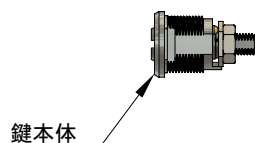


鍵の取付け

横枠 下用の鍵枠に鍵本体と、カムなどを取付けます。

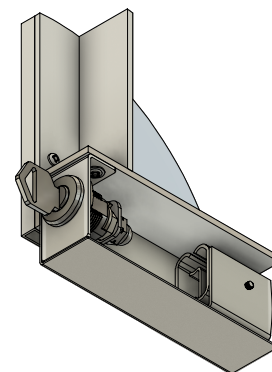
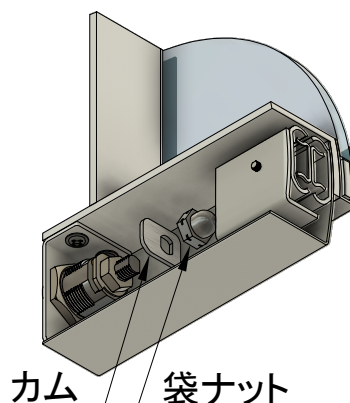
鍵本体を鍵枠に取付ける際は六角ナットを図の位置で回しながら鍵本体を締め込んで下さい。

※鍵本体を奥まで差し込んでから六角ナットを締め込むと赤色で示しているビスが干渉して締め込めません。



六角ナットはこの位置のまままわして締め込んでいってください。

鍵本体取付後、カムと袋ナットを取付けます。その後、鍵を解錠状態にしておきます。



解錠状態では子鍵は抜けません。

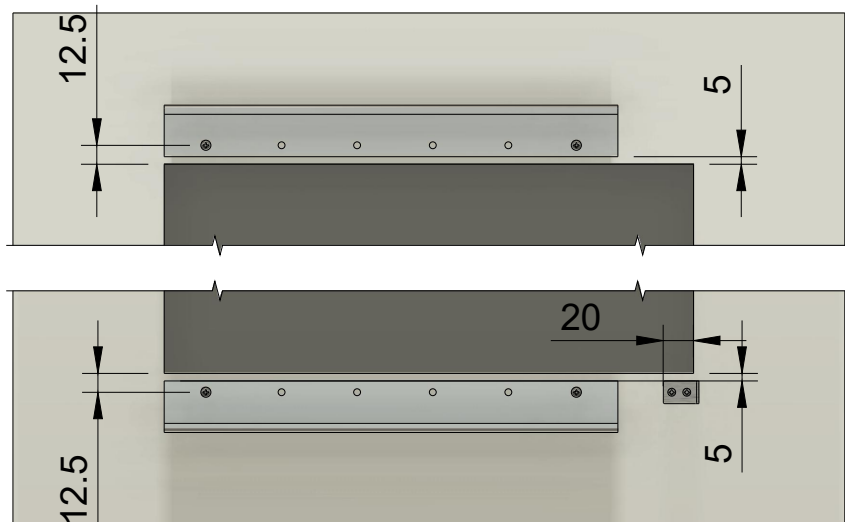
壁面取付金具と鍵受座の取付け

壁面取付金具と鍵受座を付属ビスでケースの枠に取付けます。
取付位置は下記の図を参考にしてください。
金具の取付穴はビスに対して大きめのものにしてありますので
ビスを完全に締めていなければ調整が可能です。

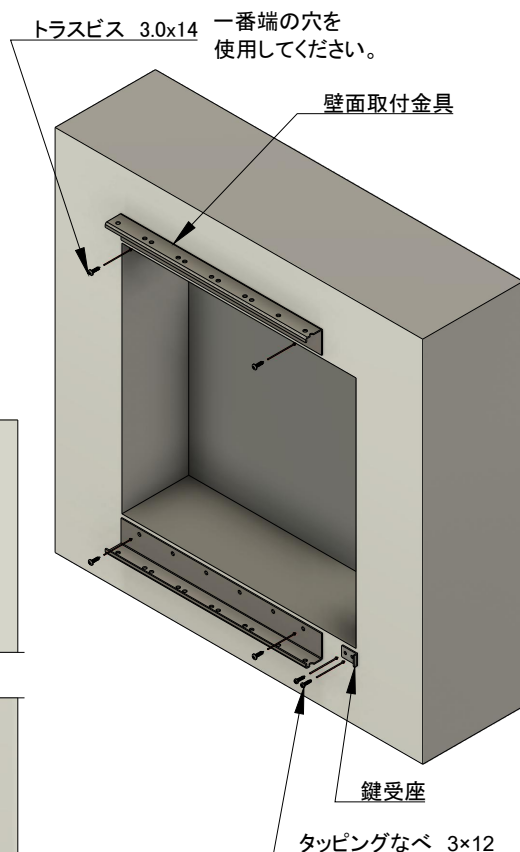
※付属ビスはケースの枠が木であることを想定しております。
枠の材質が金属などの場合は、材質にあったビスをご用意ください。

金物取付位置

(図は本体が右にスライドする場合。左にスライドする場合は左右反転します。)



※壁面取付金具はケースの枠を基準にして取付ますが、必ず壁面取付金具同士が平行になるように取付けてください。
ケースの枠が歪んでいて、枠を基準にすると平行にならない場合は片側をケースを基準にし、もう片側はケースを基準にすることよりも
壁面取付金具が平行になることを優先して取付を行って下さい。

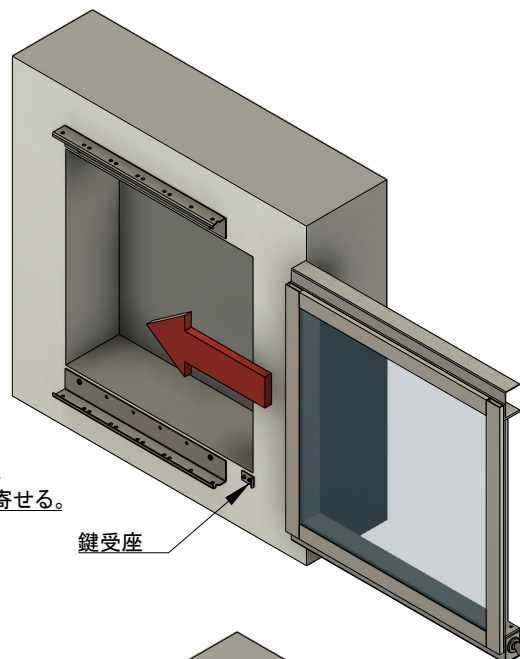


本体の取付

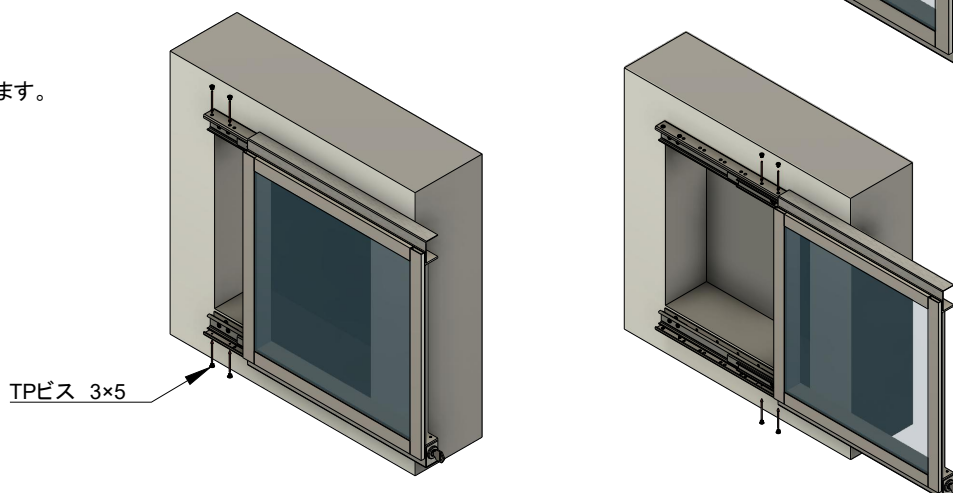
壁面取付金具に本体を横からいれます。
鍵受座を取付けた側からいれていきます。
金具の位置関係は右図を参考にしてください。
鍵受座の干渉を防ぐため、本体は出来るだけ
前に寄せた状態でいれていきます。

壁面取付金具

干渉しないように
出来るだけ前に寄せる。



本体を一度入れた後に引き戸を開き
壁面取付金具と本体をビスで固定します。

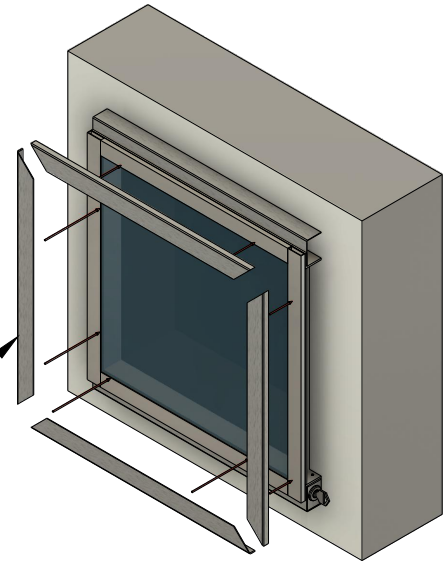


化粧枠の貼り付け

化粧枠には予め両面テープが貼られています。
離型紙を剥がして貼り付けてください。

※別途用意した化粧枠を使用する場合、
取付方法が異なる場合があります。
その場合は現場などの指示に従ってください。

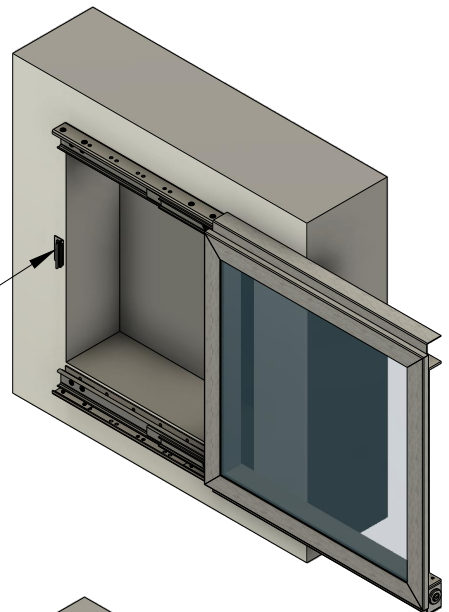
化粧枠



戸当たりの取付け

硝子部分とケース内側が綺麗に重なる位置に枠を止められる様に
戸当たりを取付けてください。

戸当たり



取付完了・動作確認

施錠状態にして子鍵を抜き施工完了です。

施工後動作確認を行ってください。
動作不良があった場合は下記項目を確認してください。

引き戸を開いた時に最後まで開かない、だんだん重くなる。
・壁面取付金具同士が平行になっていない可能性があります。
本体一度外し、壁面取付金具の調整を行ってください。

施錠できない。鍵を掛けているのに開いてしまう。
・鍵受け座の取付位置が間違っている可能性があります。
金物取付位置を再度ご確認ください。
・鍵本体にカムを取付け忘れていないかをご確認下さい。

